

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 蟹江町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果						ABCD評価				
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に、様々な相談への指導をすることにより経営および技術の改善を図り健全な企業を育成するとともに、課題解決提案の取組みを行い補助事業の成果の「見える化」を図る	経営指導員を中心に、多様化・専門化する小規模事業者の経営課題(的的確・迅速に対応して企業業績の向上につなげる取組みを実施する) ・巡回窓口指導実企業数 502社 ・巡回窓口指導延件数 1,182件 ・課題解決提案件数 30件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 131.3%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	得られた効果	小規模事業者が厳しい経営環境を克服するために必要な情報・指導を提供することで、健全な企業育成を図ることにより、町内、ひいては県内経済の活性化に寄与した。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	計画どおりに実施できた。引き続き職員全員体制で挑みたい。	○
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	記帳指導職員及び記帳指導員を中心として実施する。 ・指導事業所数 72人 ・記帳指導日数 518日 ・指導延回数 1,054回	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 96.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつけることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	経営改善普及事業の根幹として位置づけ、担当者の変な資質向上に努めたい。	○
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営に関する知識取得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 個別18回 97人 集団12回 95人(内、経営革新1回 3人)	小規模事業者	指標	個別講習会出席者 延べ (達成度 62.6%)	指標	集団講習会出席者 延べ (達成度 100.0%)	得られた効果	個別講習会では事業者ごとの課題解決に繋げることができた。 集団講習会については時事問題についてタイムリーな情報提供ができ、事業者の資質の向上に資することができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	個別講習会については参加者の減少がみられたため、周知方法、開催方法について見直しを行う。	○
祭典事業	かにえ町民まつりに協賛 参加することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業(地域資源・観光資源)PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	かにえ町民まつり 10月12日～13日 来場者約 21,000人 参加事業所 38企業・団体	町民(地域産業PRの機会として小規模事業者者に有効)	指標	町民まつり来場者数 (達成度 105.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	まつり当日は、晴天に恵まれ来場者も多く、イベントが大いに盛り上がった。また、地域産業PRの絶好の機会となり、地域の総合的な振興を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	参加事業所のPRを強化するとともに、地域・観光資源のPRに努め、蟹江町を町内外に周知する。	○
商店街・街づくり事業	「地域コミュニティの構築」という商店街にとっての至上命題を遂行するため、「げんき商店街推進事業」を継続して実施することで、更なる地域連携の強化が期待される。より地域に密着した活動を続けることで、地域住民からのニーズを拾い出し商店街活性化につなげていく。	1. 県及び町の行う「げんき商店街推進事業」の実施 2. 商店街等イベント実施回数 30回 3. 空き店舗利活用事業実施回数 10回	小規模事業者	指標	商店街等イベント実施回数 (達成度 120.0%)	指標	空き店舗利活用事業実施回数 (達成度 41.7%)	得られた効果	当初予定通り、イベントについては開催することが出来た。レギュラー開催だけではなく、地元からの意見を吸い上げて迅速体制を整えるなど、フレキシブルに対応出来たことで、地域商業活性化に繋げることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	「げんき商店街推進事業」をはじめとする商店街の活性化に資する取り組みにより、商店街での購買行動へ繋げる。	○
産業活性化事業	特産品をはじめとする地域産品を広く知ってもらうため、イベントや展示会等により販路開拓支援を行う。	1. 特産品・地域産品の販路開拓支援「まるっと! あいち」等への出店あっせん 2回 参加事業者 2事業者 2. 展示会への出展(しんきんビジネスフェア) 1回 参加事業者 1事業者	小規模事業者	指標	事業実施回数 (達成度 150.0%)	指標	事業参加者数 (達成度 150.0%)	得られた効果	積極的に商品PR及び販売ができたことで、町内外多くの方々に周知し高評価を得ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	特産品に限らず、地域産品のPRを含めた事業を展開していく。	○
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等にとって有益な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	・会員事業所情報の公開企業数 17社 ・ホームページアクセス数 60,163件	小規模事業者	指標	会員事業所情報の公開企業数 (達成度 68.0%)	指標	ホームページアクセス数 (達成度 120.3%)	得られた効果	「グーペ」によるオリジナルホームページ作成支援により、小規模事業者にとって取り組みやすい環境を整備することができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	「グーペ」を活用し、ホームページ開設のきっかけとして利用してもらえるようにPRする。	○
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態を把握しつつ関連施策の利用を促すため、制度の周知をするための広報活動を行う。	1. 効果的な施策普及資料の作成 5種類 165部 2. 商工会広報紙「ごきげんさん」の発行 2回 3. 「ごきげんさん」編集会議 5回 4. 施策普及資料の配布 6回	小規模事業者	指標	広報活動 (達成度 108.3%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	広報誌の発行及び施策普及資料の配布により、効果的な施策実施及び関連施策の利用を促すための制度周知が図れた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	より良い情報を伝えるとともに、商工会事業についての理解を深めてもらえる紙面づくりを心掛ける。また定期的に施策普及資料の配布を行う。	○

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 蟹江町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考					
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等				
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	実施方法		
雇用促進事業	地域における総合的な改善発達を図ることを目的とし、珠算振興と人材育成をめざし、全国商工会連合会と愛知県商工会連合会主催の珠算検定事業を実施する。また、海部商工会選抜珠算競技大会への参加により、珠算能力の向上に役立てる。	1. 珠算検定 6月(13人)・11月(16人)・2月(17人) 2. 競技大会 1回(23人)	児童・生徒(珠算能力向上をめざすことにより小規模事業者)に有効	指標 対象児童・生徒数 (達成度 138.0%)	50	実績数値 69	指標 (達成度 %)	珠算能力の向上発達と、健全な珠算習熟に繋がった。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標②	実施方法① 実施方法②	珠算人口の減少と珠算習熟の促進により、参加者の減少が続くが、引き続き珠算振興を支援したい。			
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。地域の後継者たる青年部員、経営者を支える女性部員に対し、経営における資質の向上を図る。	研修会・講習会・調査研究等の事業及び地域商工業の総合的振興と商工会活動の発展を目的とした事業の実施 1. 青年部事業実施回数 35回 2. 女性部事業実施回数 35回	青年部員・女性部員	指標 青年部事業実施開催回数 (達成度 100.0%)	35	実績数値 35	指標 女性部事業実施開催回数 (達成度 116.7%)	30	実績数値 35	35	創業者及び後継者等が経営の基本を学ぶことで、今後の経営に活かすことのできる知識の習得ができた。また、全国大会に参加することにより、地域のリーダーとしての意識の高揚を高めることができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	実施方法① 実施方法②	引き続き研修会等を通じ資質の向上を図るとともに、事業承継・後継者育成を含め事業展開を考えたい。
部会・委員会事業	商業・工業・観光の各部会事業や各種委員会事業を行い、部会参加企業の発展に資することを目的とする。	1. 商業振興対策の推進 2. 工業振興対策の推進 3. 観光振興対策の推進 4. 各種委員会の開催 ・事業へ参加企業数 262 ・事業所 ・事業の開催回数 31回	各部会員・小規模事業者	指標 事業へ参加企業数 (達成度 104.8%)	250	実績数値 262	指標 事業の開催回数 (達成度 103.3%)	30	実績数値 31	31	各部会活動を行い、部会参加企業の発展に資することができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	実施方法① 実施方法②	各部会員の交流を深めるとともに、専門的な調査研究・視察・講習会を充実させたい。
福利厚生事業	中小・小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図るために、企業間交流を目的とした会員研修会、従業員の健康診断事業の実施により、企業の健全な育成に資することを目的とする。	1. 健康診断事業 1回 2. 工業振興対策の推進 39事業所 3. 会員研修 1回 4. 参加事業所数 49事業所	小規模事業者	指標 健康診断事業参加事業所数 (達成度 86.7%)	45	実績数値 39	指標 会員研修参加事業所数 (達成度 70.0%)	70	実績数値 49	49	中小企業、小規模企業の経営・雇用・安全衛生の持続的な安定が図られた。また、会員研修により企業間交流の目的が達成できた。	総合評価 B	事業側評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	実施方法① 実施方法②	健康診断をより受診しやすくするとともに、会員研修の参加者を増やすことで、企業の健全な育成に向けて支援したい。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他の労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務組合の設置により、労働保険の加入推進と事務処理を代行する。 1. 委託事業所数 79社 2. 対象従業員数 359名	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 105.3%)	75	実績数値 79	指標 対象従業員数 (達成度 89.8%)	400	実績数値 359	359	中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収が図られた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	実施方法① 実施方法②	委託事業所の利便性を第一に、引き続き正しい事務処理に努める。
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会・法人会の活動支援 1. 青色申告会事業所加入件数 109社 2. 法人会事業所加入件数 191社	小規模事業者	指標 青色申告会事業所加入件数 (達成度 109.0%)	100	実績数値 109	指標 法人会事業所加入件数 (達成度 95.5%)	200	実績数値 191	191	正しい税務知識の習得と納税意識の向上により、健全な企業育成に繋がった。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	実施方法① 実施方法②	連携事業により相互のメリットを強調し、税に関する意識の向上に努めたい。
青年・女性経営者等育成事業	若手後継者候補のみならず、若手創業者にとって求められるリーダーとしての自覚、商売を営む上で学べきマーケティングやコミュニケーション能力向上を目指すセミナーを開催する。また、女性目線で取り組む防災セミナーも、近年の天変地異に対応すべき構えを企業目線で学ぶ。全国大会参加については、青年部女性部共に、部員自身の資質向上を図り、各地の部との交流を積極的に図ることを目的とする。先進地視察研修については、地域に根差した部活動について先進的な取り組みを行っている商工会へ視察を行い、地域で活躍する若手経営者等から経営手法を学ぶ場とする。	1. 青年部セミナー開催 3回 43名 2. 女性部防災セミナー開催 参加者 21名 3. 青年部・女性部全国大会参加 ・青年部 11月27日～28日 ・女性部 10月23日 4. 青年部先進地視察研修 参加者 17名 5. 女性部先進地視察研修 参加者 24名 6. セミナー参加者満足度調査 セミナー満足度 95%	小規模事業者	指標 セミナー受講者数 (達成度 213.3%)	30	実績数値 64	指標 セミナー参加者満足度 (達成度 118.8%)	80	実績数値 95	95	1. 自身の事業所のみならず、地域のリーダーとしての資質向上策を学ぶことが出来た。 2. イベントを通じて、外部からの出店者を積極的に参加させるなど、外需の取込みをはじめ、地域活性化に寄与することが出来た。 3. 全国大会参加を通じて、部員自身の相互交流を図り、活性化を図ることが出来た。 4. 視察研修を通じて、企業が地域に対してどのような貢献が出来るか、それを通じて企業体ごとのように活性化していくのかを学ぶことが出来た。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	実施方法① 実施方法②	視察研修を実施する際は、参加者一人ひとりが目的意識をしっかりと持ち取り組みたい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。